

新年に寄せて～支部長ご挨拶

北海道支部 森 操 HISホールディングス(株)



支部としての新年の抱負
新年あけましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願い致します。

会員企業の皆様におかれましては日頃より支部活動への多大なご協力ありがとうございました。

昨年も支部会員を増やす事を最優先としておりましたが、2年越しの新型コロナウイルスの影響したこともあり活動が滞ってしまいましたが、新型コロナを言い訳にしていた部分もあるかと反省して2年間分を凝縮して支部活動を進めたいと思います。

・2022年の景気見通し
まだまだ新型コロナウイルスの第6波の懸念と半導体不足による自動車、家電への影響と

先行き不透明な部分もありますが、各業界の人員不足とDXのキーワードと個人消費拡大で少し期待も入っていますが回復に向かっているとされます。

・支部長のチャレンジ目標

昨年も出来なかった会員を増やす事と支部として機能するようにする。他支部との交流を深める。

東北支部 水野 節郎 (株)イーアールアイ



新年明けましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

昨年もコロナ禍、11月初旬くらいまでは行動制限がされ、何も活動できずに来ました。

今年はどうなるか？この一年も新型株の影響などに寄り添いながら、進めていく時代になることでしょうか。

いずれ新たな段階として治療薬等々が認証されて行き、効果がでれば新たな時代の活動が定着するのではないのでしょうか？

その中で社会の変化の要求に対応すべく活動をJASAとJASA会員が共創して新たな技術と新たなサービスで対応する必要があり、お客様に寄り添う付加価値の高い、さらなる対応力が業界の反映と参画する企業の成長につながることを確信します。

東北支部としての抱負としてはJASAが大事

にしてきた会員相互のコミュニケーションをリアル/オンラインに問わず積極的に開催できるようチャレンジしていくこととしたい。特に人がリアルに会えることの大切さを再認識できるのではないだろうかと思えます。

『JASAビジョン2030』や『JASA三か年計画』に基づき、一にも二にもJASA活動の価値をプレゼンし、新規会員の加入を目指し、地域JASA会員・他支部との交流・協業して活性化を図る。

関東支部 ファンマヌエル エステベス ビジネスキューブ・アンド・パートナーズ(株)



皆様、新年明けましておめでとうございます。

新型コロナウイルスの世界的な蔓延が続く中で2度目の新年を迎えることとなりました。

企業活動や日常生活に対する新型コロナウイルスの影響は甚大なものとなっていますが、一方でこの災害を乗り越えるために企業活動においては様々なアイデアも

生まれてきたと思います。JASA会員の皆様におかれましては、自社事業スタイルの見直しだけに留まらず、これを後ろ向きではなく、変革の好機と捉え新しいサービスやソフトウェア製品をリリースしておられる方々も多いのではないのでしょうか。

ご承知のとおり日本の労働生産性は、主要先進国7カ国の中で過去50年もの長きに渡って最下位が続いています。非常に悔しい思いで受け止めています。コロナ以前には難しい

とされていたリモートワークスタイルの活用や様々な業務のクラウド化などを通じて、多くの企業が以前よりも強靱な体質へと生まれ変わりつつあると信じています。

自動車産業を始め多くの産業において100年に1度のパラダイムシフトが起きています。2022年がJASA会員の皆様にとって更なる飛躍の年となることを願いつつ、新年のご挨拶とさせていただきます。

本年もよろしくお願いいたします。

中部支部 青木 義彦 (株)サンテック



新年あけましておめでとうございます。新年を迎えて、コロナ禍の終焉が社会活動の回復につながることを期待しています。

社会が新しい時代への安定から変動・変革へ移る中、時代に対応した新たなニーズに応じていきたいと思えます。

景況指数は、急激な低下後に停滞感が続

きましたが、その後の回復基調の1年だったと思います。新しい年の期待としては本格回復です。欧米諸国では、感染の状況と経済活動を切り離しつつありますが、わが国では難しいようです。

2022年は、業界内の好不況が多様化と、格差の拡大がさらに進んで行くと考えます。これは、国や企業のみならず個人レベルでも見られ、大きなビジョンの見えない環境下で少子高齢化と人出不足が深刻化する中で、経済活

動は他国との比較においても厳しいと考えています。

支部長として、コロナ禍に於いて殆ど活動できなかった2年を考えたとき、支部の意義は、地域内会員交流にあると考えていきたいと思

います。昨年のこともありますが、実会合で地域の会員の声を直接交わして行ければと考えます。支部の皆様のご指導ご鞭撻をお願いします。

北陸支部 小林 靖英 (株)アフレル



新年にあたりご挨拶申し上げます。

新型コロナ渦発生を端とするニューノーマル社会の早期到来にて、イノベーションと新規ビジネスの創出はさらに加速度を増していくことでしょうか。そうした中で「新技術」の社会実

装、社会変革の実現に大きな進展が期待されます。

＜先進人材育成と技術進化への対応＞
こうした変化、進化、成長の先頭に立つエンジニア、そして将来の社会経営を担えるエンジニアの育成を目指して、高等教育機関、研究機関、地域業界団体、行政機関と連携し、産学官での活動を活性化したいと考えています。

DX/バージョンチャレンジやETロボコンへの参加者、協力者の拡大、また地域における活動の場、情報交換・交流の場づくりの進展、さらにJASA発信のセミナー、ワークショップの実施を進め、人材育成プラットフォームとしての活用にご参加を。本年も、よろしくお願いいたします。

近畿支部 塩路 直大 (株)Bee



新年あけましておめでとうございます。ここ2年は様々な対応に追われ慌ただしく時間が過ぎていく、そんな日々を送っております。

コロナ禍における新年も3回目を迎え、その間にJASAや支部、また企業活動では多くの変化を遂げております。新型コロナウイルスは、いったいつまで新型なのでしょうか？

ニューノーマルな社会には、なったのでしょうか。何れにせよ我々は、まだ暫く続きそうなパンデミック禍においても経済活動を維持・発展させていく、そういう攻めの姿勢で臨む新年であると思っております。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

・支部として新年の抱負
パンデミック禍においても支部活動としては感染対策には万全を期した上で、しっかりと活動していく1年にしたいと考えております。

支部の役目は地域における企業間交流にあります。可能な限り会員同士が繋がりをもてる活動を推進して参ります。

・支部の活動目標
近畿支部では会員企業にとって「使えるJASA」を目標としております。また2025年には大阪・関西万博を控えており関係機関との連携を進めて参ります。これらの取り組みについて、しっかりと会員企業に評価いただけるよう邁進して参ります。

九州支部 光安 淳 (株)エフェクト



新年あけましておめでとうございます。

昨年中は九州支部の活動に格別なるご支援を賜り、心より感謝申し上げます。新しい年のスタートに際し、ご挨拶申し上げます。

一昨年は開催出来なかった「モノづくりフェア(九州)」が昨年は何とか開催されました。直前まで開催可否が明確にならず、JASA九州

支部としての出展は実現できませんでしたが、リアルとバーチャルの併用という昨年を象徴する形式で実施されました。

私達九州支部もイベント開催方法について、創意・工夫していく必要性を感じております。本部との連携をこれまで以上に深めながら、時代に即した形でのイベント実現に取り組んで参ります。

弊社エフェクトにとっても昨年は大きな変革の1年でした。昨年3月、株式会社長大と業務

資本提携を結び、その後、10月に人・夢・技術グループ株式会社をホールディングスとするグループ体制に移行しております。弊社にとって本年は、他グループ会社との連携を深めながら気持ちも新たに更なる成長を目指す1年となります。もちろん、弊社グループの成長のみならず、福岡・九州全体を盛り上げていける様尽力して参る所存です。

本年も、変わらぬご協力・ご支援の程、宜しくお願い致します。